

要 望 書

人流・物流対策と都市の防災・安全対策

の推進について

～ (都) 南部幹線及び (都) 西片西宮線整備事業 ～



南部幹線【供用区間：2工区（手前） 未着手区間：3工区（奥）】

令和3年11月

熊本県八代市

本市の街路事業につきまして、平素よりご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

本市は、『しあわせあふれる ひと・もの交流拠点都市“やつしろ”』を将来像に掲げ、高速道路、九州新幹線、八代港という交通・物流基盤をフル活用し、世界とつながる『熊本の副都心づくり』を進めているところです。これらの交通・物流基盤を補完し、地域の暮らしを支え、安全・安心で魅力ある都市を築いていくためには、都市計画道路の着実な整備が必要であります。

また、平成28年熊本地震や令和2年7月豪雨をはじめとする災害時の救助活動や医療搬送、物資輸送の機能を強化するため、多重性・代替性のある広域的な道路の確保、すなわち『命の道』となる都市計画道路の早期整備が求められています。

さらに、現在、新型コロナウイルス感染症の拡大により、経済活動の停滞を余儀なくされており、景気の下支えとなる「生産性向上に資するインフラ整備」は、コロナ終息後の経済の回復に、非常に効果的であります。

つきましては、(都) 南部幹線、(都) 西片西宮線の整備予算の安定的な総額確保について、特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

(都) 南部幹線

本都市計画道路は、重要港湾八代港と南九州西回り自動車道八代南IC及び国道3号を結ぶことで、人流・物流ネットワークの強化に資するとともに、中心市街地と南部市街地や臨海部を結ぶ都市軸にも位置付けられる重要な幹線道路です。

現在、本市と熊本県が連携して整備を進めており、区間内には、球磨川、南川、前川の一級河川が流れ、南川を跨ぐ2工区1,038mは、市施行により平成29年3月に供用開始を図ったところです。

起点側の前川を跨ぐ1工区965mは、県施行により平成28年度に事業認可を取得し、これまで用地取得や建物移転を進め、本年度、道路工事に着手されました。また、球磨川を跨ぐ3工区約650mについても、来年度の事業化に向け、測量設計や関係機関との協議を進められています。

今後、県が施行する区間は、1工区における工場の移転補償や橋梁整備に加え、3工区も事業に着手することから、多くの事業費を必要とします。

(都) 西片西宮線

本都市計画道路は、九州新幹線新八代駅周辺と国道3号を結ぶことで、東部市街地の骨格を形成し、観光などの地域振興に寄与する重要な幹線道路です。

本市が平成20年度から事業に取り組み、平成29年4月に1工区360mの供用開始を図ったところです。

2工区350mについては、平成29年度に事業認可を取得し、令和5年度末の供用開始を目指し、整備を進めております。また、3工区290mについても、来年度の事業化に向け、関係機関との協議を進めております。

今後、早期の全線供用開始に向け、住宅や店舗の移転補償や国道3号との交差点改良など、多くの事業費を必要とします。

令和3年11月24日

八代市長 中村博生